

参考資料

分類名〔経営〕

参19 第三者認証GAPにおける団体・グループ認証の体制とメリット

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

第三者認証GAPの調査事例から、審査機関、コンサルタント機関、関係組織等、団体・グループ認証の体制図を示した。団体・グループ認証のメリットは、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）、経営改善、生産工程管理の意識向上、費用等の負担軽減、出荷先から高評価等となっている。

1 取り上げた理由

国の「食料・農業・農村基本計画」及び県の「みやぎ食と農の県民条例基本計画」、「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」において、GAPの取り組みを普及させることを目指している。県内の第三者認証GAP取得数は前年比12件増の25件だが、うち団体・グループ認証は2件と少なく（2018年11月末時点）、第三者認証GAP団体・グループ認証の体制やメリットが明らかになっていない。そこで、県内外の第三者認証GAP団体・グループ認証事務局及びメンバーを調査し、第三者認証GAP団体・グループ認証の体制とメリットを明らかにしたので、参考資料とする。

2 参考資料

- (1) 団体・グループ認証の体制（調査事例）について、団体・グループ認証事務局及びGAPメンバー・農場に対する、審査機関、コンサルタント機関、関係組織等の関わりは図1のとおりである。
- (2) 団体・グループ認証のメリットは5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）、経営改善、生産工程管理の意識向上、費用等の負担軽減、出荷先から高評価等、デメリットは記帳量増加、課題は、維持・継続していくことである（図1、表1、図2）。

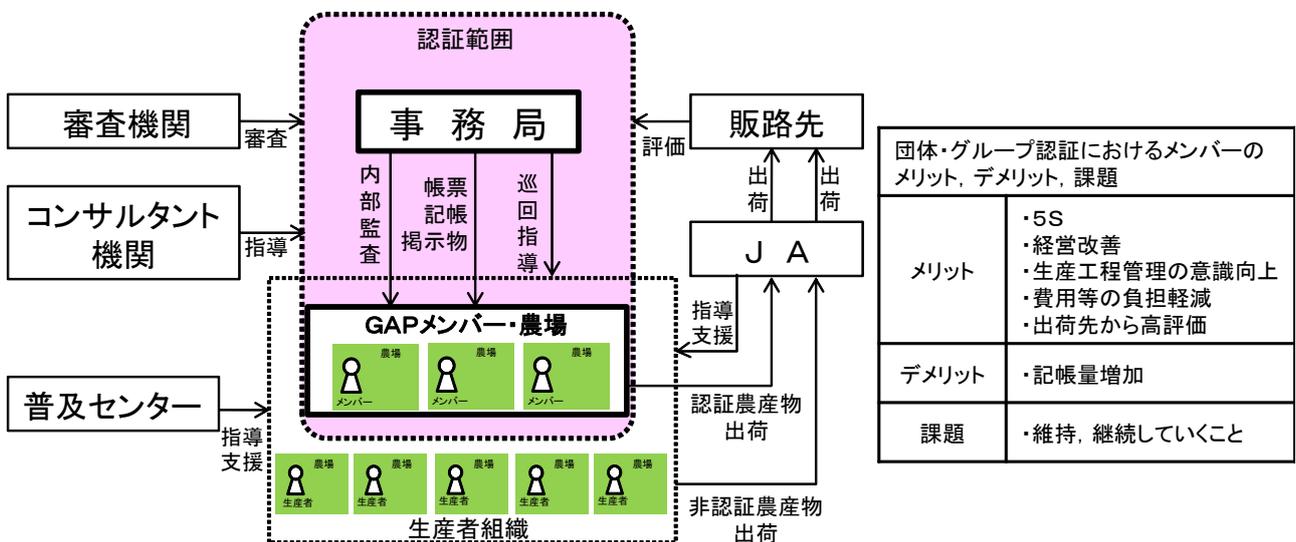


図1 団体・グループ認証の体制(調査事例)

3 利活用の留意点

- (1) 県内外のJGAP団体認証及びGlobalG.A.P.グループ認証の事務局及びメンバーを対象に実施した聞き取り調査である（表2）。

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8111）

4 背景となった主要な試験研究

参考資料19 第三者認証GAPにおける団体・グループ認証の体制とメリット

(1) 研究課題名及び研究期間

宮城県における第三者認証GAP導入に向けた課題解明と『第三者認証GAP導入ガイド』の策定（平成30年度）

(2) 参考データ

表1 事務局による団体・グループ認証における管理体制、目的・きっかけ、認証前の課題、メリット、ICT、評価、コンサル・審査費用

内容	管理体制	目的・きっかけ	認証前の課題	メリット	ICT	評価	コンサル・審査費用												
	事務局等の役割の明確化	GAP専従者	団体・グループメンバー募集	作業管理の体制 品質・単価向上 差別化，安全安心	販路先からの要望	課題があった団体数	5S 帳票・記録・掲示	メンバーのモチベーション	収量・収益増加	品質向上 コスト削減	メンバーの意識向上	5Sの実施	農業管理システムの活用状況	関係者からの高評価	コンサル 協議会等による審査費用負担	認証取得のための施設整備			
該当団体数 (n=3)	3	2	2	1	1	1	1	1	3	2	1	1	2	2	0	2	3	3	3

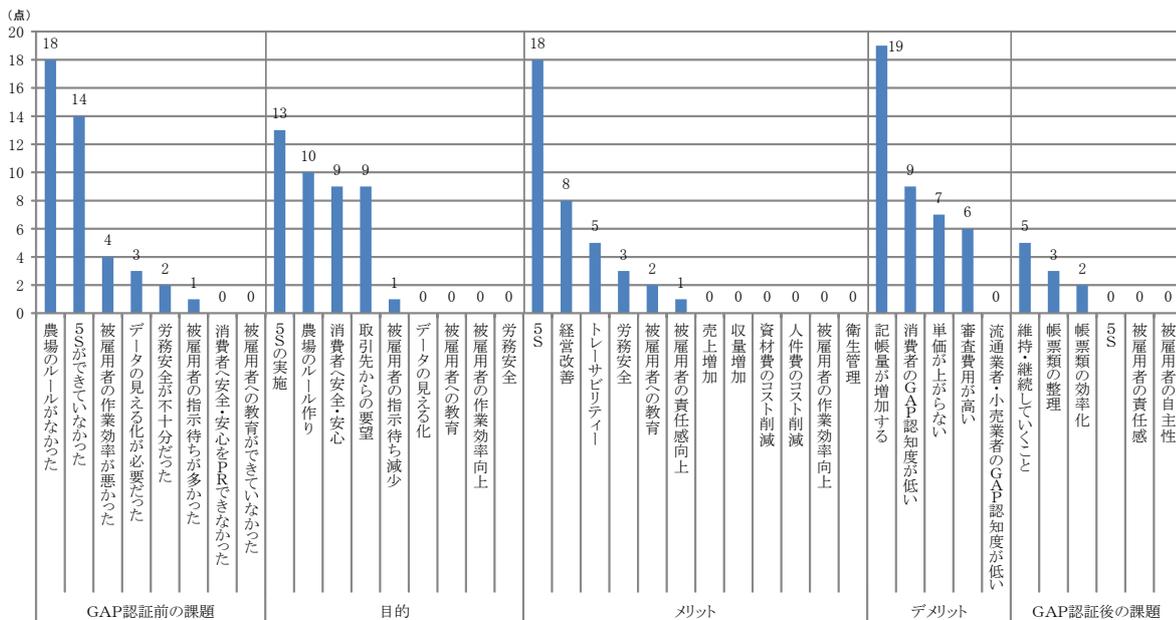


図2 団体・グループメンバーによる認証の前の課題、目的、メリット、デメリット、認証後の課題 (n=8) (1位3点, 2位2点, 3位1点とし点数化, 「GAP導入後の課題」のみ複数選択)

表2 第三者認証GAP・グループ団体認証一覧

No.	団体	宮城県	GAPの種類		区分	品目	品目数	認証までかかった年数	認証年数	事務局	メンバー数	メンバー平均年齢	栽培面積 (ha)
			JGAP	ASIA GAP									
1	A団体	宮城県		○	青果物	施設野菜	1	6か月	1年	全農	3	—	2.67
2	B協議会	秋田県	○		青果物	露地野菜	1	2年	5年	役場	28	70～80歳代	0.6
3	C研究会	山形県	(○)		穀物	玄米	1	1年	8年	農協	16	50～60歳代	約50

(3) 発表論文等 なし

(4) 共同研究機関 なし